

5. 経営上の障害

経営上の障害について、全産業の過去5年間推移をみると、令和4年度と同様、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が56.8%で第1位となり、「人材不足（質の不足）」が51.7%で第2位、「労働力不足（量の不足）」が42.0%で第3位となっている。

以下、「販売不振・受注の減少」が27.8%、「人件費の増大」が21.7%と続く結果となっている。

第8図表 経営上の障害（複数回答、上位比率5項目：全産業）

(%)

順位	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1位	人材不足 （質の不足） 56.3	販売不振・受注の 減少 53.3	人材不足 （質の不足） 49.0	光熱費・原材料・ 仕入品の高騰 58.0	光熱費・原材料・ 仕入品の高騰 56.8
2位	労働力不足 （量の不足） 37.0	人材不足 （質の不足） 43.9	販売不振・受注の 減少 41.9	人材不足 （質の不足） 49.7	人材不足 （質の不足） 51.7
3位	販売不振・受注の 減少 29.9	同業他社との 競争激化 27.1	原材料・仕入品の 高騰 34.4	労働力不足 （量の不足） 33.8	労働力不足 （量の不足） 42.0
4位	原材料・仕入品の 高騰 29.9	労働力不足 （量の不足） 21.4	労働力不足 （量の不足） 25.0	販売不振・受注の 減少 33.3	販売不振・受注の 減少 27.8
5位	同業他社との 競争激化 22.5	人件費の増大 19.0	同業他社との 競争激化 23.8	同業他社との 競争激化 19.3	人件費の増大 21.7

※令和4年度より「原材料・仕入品の高騰」に「光熱費」が追加

また、経営上の障害について、業種別にみると、製造業計では「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が73.4%、「人材不足（質の不足）」が46.7%、「販売不振・受注の減少」が31.8%と続くのに対し、非製造業計では「人材不足（質の不足）」が57.0%、「労働力不足（量の不足）」が53.5%、「光熱費・原材料・仕入品の高騰」が39.0%と続く結果となっている。

第9図表 経営上の障害（複数回答、業種別）

